


仙台市スポーツ少年団 創立40周年記念誌


夢ある未来に!
大きく前進!

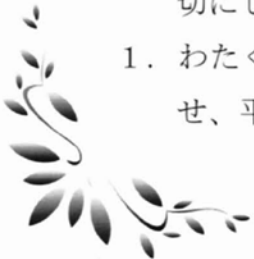



平成18年11月
仙台市スポーツ少年団



日本スポーツ少年団団員綱領





1. わたくしたちは、スポーツをとおして健康なからだを心で養います。
 1. わたくしたちは、ルールを守り、他人に迷惑をかけない、りっぱな人間になります。
 1. わたくしたちは、スポーツによって、自分の力を伸ばす努力をします。
 1. わたくしたちは、スポーツのよろこびを学び、友情と協力を大切にします。
 1. わたくしたちは、スポーツをとおして世界中の友達と力をあわせ、平和な世界をつくります。
- 
- 



日本スポーツ少年団指導者綱領



1. わたくしたちは、次の次代を担う子どもたちの健全育成のため努力します。
 1. わたくしたちは、スポーツのもつ教育的役割を果たすために努力します。
 1. わたくしたちは、子どもたちのもつ無限の可能性を開発するために努力します。
 1. わたくしたちは、つねに愛情と英知をもって子供たちと行動するよう努力します。
 1. わたくしたちは、スポーツを愛する仲間とともに世界の平和を築くために努力します。
- 
- 

目 次

「40周年を迎えるにあたって」	仙台市スポーツ少年団本部長	筒井久美子	……………	2
「祝 辞」	宮城県スポーツ少年団本部長	三上 末男 様	……………	3
「祝 辞」	仙台市長	梅原 克彦 様	……………	4
「祝 辞」	仙台市教育長	奥山恵美子 様	……………	5
「祝 辞」	(助)仙台市スポーツ振興事業団理事長	阿部 芳吉 様	……………	6
「祝 辞」	仙台市体育協会会長	伊藤 孝夫 様	……………	7
仙台市スポーツ少年団歴代本部長			……………	8
各区スポーツ少年団本部長挨拶			……………	9～11
部会紹介：サッカー部会、バレーボール部会、バスケットボール部会、卓球部会、 野球部会、柔道部会、バドミントン部会、剣道部会、空手道部会、 ボウリング部会、トランポリン部会、リーダー会			……………	12～17
仙台市スポーツ少年団の登録状況			……………	19
平成18年度仙台市スポーツ少年団登録一覧			……………	20
仙台市スポーツ少年団規約			……………	26
仙台市スポーツ少年団指導者協議会規程			……………	29
平成17・18年度仙台市スポーツ少年団役員名簿			……………	31
スポーツ少年団の歌			……………	32

40周年を迎えるにあたって



仙台市スポーツ少年団

本部長 筒井 久美子

仙台市スポーツ少年団は、昭和39年に仙台市体育協会によって設置されました。その年の5月には、単位団20団を持って発足いたしました。

創立40周年を迎えました現在では、300団を越えます大世帯となりました。その間を支えて下さった指導者の皆様、各単位団の活動を地域で暖かく見守って、応援下さった母集団や地域の皆様に、心より感謝申し上げます。

日本スポーツ少年団創設時の理念であります、「スポーツを通して青少年の健全育成」が大きな柱にあります。

スポーツを通して「からだづくりと心の成長」「スポーツの生活化」「生涯スポーツづくり」「スポーツによる国際交流」「青少年を国際人に」を創立当初から今も、理念は変わる事はありません。

これからのスポーツ少年団活動を、充実させるための課題として「地域スポーツクラブ」としての発展的移行。総合型スポーツクラブ化、競技種目や年令、性別にこだわらず「みんなのスポーツ」として生活の一貫とならなければと思います。

又、種目によってはよく「卒団」という言葉を聞きますが、中・高校生になっても地域活動に参加できる「場」づくりに、学校部活動との連携も大切になります。

小学生、中学生時には「ジュニアリーダー」認定制度、高校生になると「シニアリーダー」認定制度、そしてシニアの資格を取得すると、国際人としてデビュー出来る、ドイツ派遣制度もあります。

スポーツが大好きな子供たちを沢山つくること、スポーツを通して大勢の仲間をつくれる子供たちを増やすこと、そして地域の活性化を視野に、これからも仙台市スポーツ少年団が益々発展することを願い、又、皆様の大きなご理解とご協力を賜りたく、宜しくお願い申し上げます。

祝 辞



宮城県スポーツ少年団

本部長 三上末男

仙台市スポーツ少年団創立40周年記念式典を挙げるに当たり、お祝いの言葉を申し上げます。

1936年に日本スポーツ少年団が創設され、五つの大きな理念の柱のもと、全国にその輪を広げ、この新しい活動が多くスポーツ関係者に受け入れられ、日本本部が目標としていた100万人団員獲得も、創立10年を超えて間もなく達成するなど、順調に伸びて参りました。

この100万人の団員の内、我が宮城県は常に3万人の団員を擁し、団員数で全国8位前後の位置をキープし、活動状況についてはトップレベルを保持して、生涯スポーツを始め入り口の広さとして十分その役割を果たしているものと思っています。

18年度の指導者の先生方も273人増の6,272人と母集団と共に質の高い指導が可能な組織として、団員の付託に応えられる様、日々研鑽に励んで居るところであります。仙台市スポーツ少年団創立以来、40年間歴代本部長さんの下順調に進展し、数々の実績を挙げて来られました。時代の推移と共に新しい事にも挑戦し団員も、のびて来ました。

宮城県のスポーツ少年団の組織の25%は仙台市スポーツ少年団で占められています。今程次代を担う青少年の健全育成の重要性が声高く叫ばれている時はなかった様に思います。心をもっともっと鍛えなければ、身長、体重の伸長著しい青少年のもろさは解消出来ないと思います。40周年を期に本部長さんを中心に、役員、指導者の先生方のご活躍で宮城の子供たちの素晴らしさを全国に発信出来るものと思っています。今後とも仙台市スポーツ少年団の益々のご発展と青少年の健全育成の為ご協力賜ります様念じてお祝いの言葉と致します。

祝 辞



仙台市長 梅原克彦

仙台市スポーツ少年団設立40周年を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より、指導者並びに関係者の皆様には、児童生徒のスポーツ活動をとおり、子供たちの健全育成と健康づくりにご尽力いただき、深く感謝申し上げます。

40年ともなると、時の流れを感じられずにはいられないというのが正直な私感であります。

貴少年団におかれましても、その間多くのOB・OGを輩出し、現在はそれぞれが各方面で活躍されていることと思います。

中には、スポーツ少年団で次代を担う子供たちを指導する立場にある方、またはスポーツ少年団での活動をステップとし、アスリートとして第一線で活躍している方もいらっしゃると思います。

紡がれた歴史を振り返ると、皆様の感激もひとしおでないかと存じます。

また、過日、少年団員の子供たちに会う機会がありましたが、堂々かつ礼節を重んじる態度に非常に感心いたしました。

時代は変わっても、先輩方が残した伝統は大切に守られ、脈々と引き継がれているのだと思い、貴少年団の歴史の重みを改めて感じました。

これも指導者並びに関係者の皆様方にご尽力いただいたからに他なりません。心より深く感謝申し上げます。

今後も、子供たちが健やかでたくましい心身を育まれるよう、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後に、貴少年団の益々の発展と皆様方の活躍をご期待いたしますとともに、皆様方のご健勝を祈念申し上げ、お祝いのことばといたします。

祝 辞



仙台市教育長 奥山 恵美子

仙台市スポーツ少年団設立40周年を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

さて、現代は人と人とのつながりが稀薄になりがちで、子どもたちもまた、子どもたち同士のコミュニケーションのとり方に悩むことも少なくないといわれております。

そのような中でスポーツ少年団での活動は、体力や競技力の向上のみならず、練習や試合の中で楽しさ、つらさ、悔しさ、喜びを「仲間とともに」味わい、「仲間とともに」成長していくことの素晴らしさを学ぶ場でもあると思います。

加えて仲間を思いやる心、敬う心、ともに最後までやり遂げることの難しさ、尊さ…。人生の中では少年期のごくわずかな期間ではありますが、子どもたちが得るものは尽きないのではないのでしょうか。

時代の流れによる環境の変化は否めませんが、スポーツ少年団での活動に熱心に真剣に打ち込む子どもたちの輝く瞳は、今も昔も変わりはないと思います。

この貴重な機会を供するために、永きにわたりご尽力いただいております指導者並びに関係者の皆様には、今一度この場をお借りして心より感謝申し上げます。

また、今後も子どもたちの活動に際し、お力添えをいただきますよう、お願い申し上げます。

最後になりましたが、貴少年団のますますのご発展をお祈り申し上げ、お祝いのことばといたします。

祝 辞



(財)仙台市スポーツ振興事業団

理事長 阿部 芳吉

仙台市スポーツ少年団が設立40周年を迎えられましたこと、並びに記念行事が盛大に開催されますこと、心からお祝い申し上げます。

日頃より「青少年の健全育成」を目的に多種目の競技スポーツを通してスポーツ少年団の普及と育成及び活動の活発化をはかって各種事業を推進していますことに感謝を申し上げますとともに、スポーツ少年団を運営発展されてます皆様のご尽力に対しまして敬意を表する次第でございます。

当事業団も仙台市のスポーツ振興施策の基礎となる「仙台市スポーツ振興基本計画（せんだいスポーツ元気プラン）」を具現化すべく、するスポーツ・・・各施設における各種教室の開催（市民の求めている幅広い教室の開催、たとえばヨガ、エアロビクス、歩く水泳等々）を行ったり、みるスポーツ・・・国際的・全国的スポーツイベントの開催（仙台カップ国際ユースサッカー大会等）また、ささえるスポーツ・・・地域指導者研修会の開催や総合地域スポーツクラブ創設の支援等を事業として行っているところでございます。

これらは、貴スポーツ少年団の目的としている「青少年の健全育成」と児童・生徒を対象としている点では、趣をひとつにしている部分でございます。

今後とも、仙台市民の豊かなスポーツライフを築くため手を携えてスポーツの普及振興に努めてまいりたいと考えております。

仙台市スポーツ少年団の果たす役割は、ますます重要なものであり市民の期待は一層大きいものとなっております。

貴スポーツ少年団の更なる充実、発展をされますことを心から祈念いたしましてお祝いの言葉といたします。

祝 辞



仙台市体育協会

会 長 伊 藤 孝 夫

仙台市スポーツ少年団設立 40 周年おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

日本スポーツ少年団情報誌、スポーツジャスト今年の 8 月号は「思い出イッパイ! 友だちイッパイ! の交流活動」が特集でした。単位団での交流からはじまって、母集団主役の親との、指導者との、地域との、競技別の更には日独、日中交流と多岐にわたる活動がなされていることを改めて認識するとともに 40 年に亘る関係者の皆様のご尽力に深甚な敬意を表したいと存じます。

日本のサッカー界はスポーツ少年団草創期から育成活動に協力しており、昭和 42 年には「第 1 回全国少年サッカー大会」を開催、今日に至っております。仙台市のスポーツ少年サッカー大会各区（青葉区等 5 区）決勝戦は数年前から、ベガルタ仙台のホームゲームの前座試合として行われており、選手達が多く仲間と観客の声援を背に頑張っている姿は観る人々に多くの感動を与えてくれております。ユアテックスタジアムでは選手、コーチ以外の仲間、親はグラウンドに入れませんが各区の予選会場（小学校のグラウンド等）では近くでの応援もできますし、ハーフタイム、ゲーム終了後には親御さん達が選手にかけよって世話をしておりますが、時として試合中に相手選手、審判を野次ったりと、その言動には眉をひそめることもあります。

日本のスポーツ少年団の源流はドイツのスポーツユーゲントにあるといわれております。私は 1979 年、日本ユースチーム、ヨーロッパ遠征団（ドイツ、ポルトガル、ユーゴ、ハンガリー）の団長としてドイツ、デュスブルグ（デュッセルドルフ近郊）のスポーツシュレ（芝グラウンド 6 面、体育館、プール、合宿所等完備）に滞在中にスポーツユーゲントの試合を観る機会がありました。選手達を車で送って来た親達のほとんどは、選手ベンチの反対側の芝生スタンドで仲間家族と盛んに声援を送っており、主審はチームの指導者、副審は試合に出ない子供が旗をふっていました。微妙なオフサイド等はあまり気にしませんし、観客も静観でした。

プレー後からのファウルには厳しく、主審はその場で両選手に指導を与えていました。ハーフタイム、ゲーム終了でベンチに引き上げてきた選手の世話はゲームに出なかった仲間達でした。試合が終わり家族はクラブハウスに移り、グループで親達はビール、コーヒーを飲みながらの歓談、子供達はジュース等を手に卓球、吹き矢、カード遊びなどに興じながら選手達を待っているという風景でした。

仙台市スポーツ少年団歴代本部長

仙台市スポーツ少年団は平成2年に仙台市、泉市、宮城町、秋保町の各スポーツ少年団が合併して結成されました。

合併前の2市2町の本部長			
仙台市	初代	升澤 勝見	昭和39年～昭和41年
	二代	小畑 健治	昭和41年～昭和54年
	三代	菊池 道衛	昭和55年～昭和60年
	四代	大岡 保典	昭和60年～平成2年
泉市	初代	熊谷 誠一	昭和50年～平成2年
宮城町	初代	佐々木 駒雄	昭和53年～昭和56年
	二代	関 昭	昭和57年～昭和60年
	三代	加藤 孝	昭和60年～平成2年
秋保町	初代	岡崎 敬行	昭和55年～昭和61年
	二代	大久保 秋二郎	昭和61年～平成2年
2市2町のスポーツ少年団が合併			
仙台市スポーツ少年団設立			
	四代	大岡 保典	平成2年度～平成4年度
	五代	菅原 壽	平成5年度～平成12年度
	六代	筒井 久美子	平成13年度～平成18年度

旧仙台市のスポーツ少年団が結成されてから40周年となります。

さらなる飛躍を願って



青葉区スポーツ少年団
本部長 佐藤伸光

我が仙台市スポーツ少年団が創立40周年を迎えるに当り、共に多くの仲間と喜びをわかち合いたいと思います。

子供達にスポーツを通し“こころ”と“からだ”を育てることを目的にしたスポーツ少年団組織が仙台市5区に分かれ活動を始めたのが平成11年であります。

すでに各区体育協会が発足し仙台市体育協会加盟スポーツ少年団もこの年から青葉区体育協会の一員に加わりきめ細かい活動内容を求められるようになりました。

幸いにも多くの青葉区内スポーツ少年団の指導者、母集団育成会の皆様より本団の組織運営に対し絶大なるご支援と熱意あるご協力を頂き事業の推進を実施する事が出来ました。

これからも今迄以上に地区学区に根差した青少年健全育成をスポーツ少年団活動を通して推進して参る所存でございます。

創立40周年の節目に当り今日までの歴史を築いてくれた諸先輩はじめ保護者、指導者の方々に感謝と敬意を表します。

今後も青葉区スポーツ少年団各位がそれぞれの工夫と努力をつみ重ねさらなる飛躍をされますことをご期待申し上げお祝いのことばと致します。

創立40周年によせて



宮城野区スポーツ少年団
本部長 菅野浩佳

創立40周年おめでとうございます。

私がスポーツ少年団に関わるようになったのは、多くの指導者の方々も同じかと思いますが息子が入団したのがきっかけでした。息子は順調に成育して巣立ち今年二十歳になりますが、親の私は続けて少年団のお手伝いをさせて頂いております。

スポーツ少年団の構成は、団員・指導者・母集団の三位一体でその活動の中心にあるのが団員です。

今後とも、プレイヤーズファースト（団員第一）でのより良い活動を期待しますと共に、私自身も微力ながらお手伝いをしていきたいと思っております。

これまでの市少年団活動を40年間にわたり支えてこられました先輩諸兄の皆様には感謝しますと共に、今後より一層の発展を祈念しております。

創設 40 周年にあたって



若林区スポーツ少年団
本部長 安中 俊作

創設 40 周年おめでとうございます。多くのスポーツ少年を育てた仙台市スポーツ少年団は、現在、団員 8,000 余名を抱え、県内のスポーツ少年団員数の 4 分の 1 を占める大きな組織に成長しました。

顧みますと、本年創設 30 周年を迎えた我が団（南小泉サッカー少年団）では、創設当時に活躍した団員の子どもさんがチームの要として活躍している時代に入りました。このような現実をみても、これから先スポ少の歴史が永遠に続くことを感じ取れます。

ところで、以前から、少年団における指導者と母集団の関係、指導者の資質の問題等が跡を絶ちません。団活動の中心となる指導者の方々は、「子どもは親を選べない」と同様に「団員は指導者を選べない」ことをしっかり受け止め、よりよい団運営を心がけていただきたいと思います。

縁あって長い間スポーツ少年団に関わってきましたが、昨年の 12 月初旬に中田アリーナでの育成員研修会に向かう途中で見かけた『人の子も我が子も同じ愛の手で』という立て看板の標語をかみしめて子どもたちと共にスポーツを楽しみたいと考えております。

創立 40 周年に寄せて



太白区スポーツ少年団
本部長 市原 三夫

仙台市スポーツ少年団、創立 40 周年を迎えますこと本当に心よりお祝い申し上げます。

昭和 47 年に「やぎやまサッカースポーツ少年団」の団長になり指導員として少年団に関係するようになりましたが、単位団の活動とサッカー部会での活動が精一杯でした。ただ、私の妻が指導員として三重県の全国大会に県のリーダー達を引率して参加したり、泉ヶ岳や松島の青少年の家でのリーダー研修会、夏山登山や冬山（スキー）などの面倒を見ていた時には、少年団活動も大変だなと思ったものでした。仕事を持っている人には少年団活動に時間をさく事は非常に難しい事ですが、この 40 年の永い間、誰かが何とかやりくりして協力してくれたからこそ、今日があるものと感謝する次第です。

私も定年を迎え支部となり、区本部となった太白区の役員として及ばずながらお手伝いをする事になりましたが、仙台市スポーツ少年団の益々の発展の為、もう一頑張りする所存であります。

創立 40 周年を迎えて



泉区スポーツ少年団

副本部長 高橋 優勝

仙台市スポーツ少年団におかれましては、創立 40 周年を迎えられ、誠にめでたうございます。心よりお祝い申し上げます。

又、社会の急激な変化の中でスポーツ少年団の発展にご尽力されました、歴代本部長はじめ役員の方々の皆様に対しては、改めて敬意を表したいと思います。

さて、スポーツ界もこの 40 年の間に色々な変化があり、私達のスポーツ少年団を取り巻く環境も少子化の影響を受け大きく変化しようとする中で、私達スポーツ少年団の指導者及び母集団の役割も少しずつ変わろうとしており、各単位団におかれましても今後どの様に団運営をして行くか悩みの種ではないかと思えます。

これからの未来を背負っていく子供達に指導者として何をしてやれるかを今一度スポーツ少年団の理念に照らし合わせ一考し、そして努力し、皆で力を合わせスポーツを通じて社会に貢献出来る若者を育成して行こうではありませんか。

終わりになりますが、仙台市スポーツ少年団はじめ各単位団の更なる発展とご活躍をご祈念申し上げます。

活動のスタッフ



サッカー部会紹介

仙台市スポーツ少年団サッカー部会 部会長 市原三夫

仙台市スポーツ少年団創立40周年、誠におめでとうございます。

我々のサッカー部会では、「中田」が当初から加盟、当時の県内の少年サッカーチームは全て少年団に加盟する取り決めをした事により、現在も全チームが少年団登録をしております。

県協議会は県内を10ブロックに分け運営しており、その内仙台は区毎にブロックを構成し、それをまとめて仙台市サッカースポーツ少年団協議会を組織、県全体の半数以上を占める80団が加盟しています。

県事業である全日本少年サッカー大会、学年別大会、選抜大会に加え市協議会事業の河北杯、チャンピオンズカップ、ヒロ・スポーツ杯、新人交流大会と年間を通じて数多くの競技が行われています。

又、姉妹都市交流として中国の長春市、韓国の広州市と数年に亘り親善交流試合をし、国内各地との交流ばかりではなく、海外との交流もしております。



バレーボール部会紹介

仙台市スポーツ少年団バレーボール部会 部会長 菅原 壽

仙台市スポーツ少年団が、40周年を迎えるに当たり、わがバレーボール部会を振り返ると。

1989年に仙台市スポーツ少年団の内部に種目別部会として、正式に認知され、種目別大会等の主管を司ることになりました。

以前は、本部事業の一端として、1977年に第1回バレーボール交流大会（春季・夏季・冬季）を開催し、団活動の活発化を図って参りました。以後本年度で、29回を重ねるまでに至っています。

また、1991年から新人交流大会を開催し、低学年へのチャンスの場を設けることにし、少年団活動の一層の盛り上がりを図っているところです。

昨今、団員が減少する中、わがバレーボール部会に所属する団は、甚だ少しではあるが増加する傾向が見られるに至っております。

今後共、なお一層の楽しい団活動を推し進めて行くよう努力したい。





バスケットボール部会紹介



仙台市スポーツ少年団バスケットボール部会 部会長 白岩良光

仙台市スポーツ少年団創立 40 周年おめでとうございます。

仙台市内の少年、少女のみなさんが、スポーツに励むことが出来る様、ご指導、支援をしていただき感謝申し上げます。

これまで、各種目の登録団を取りまとめ推進するためには並大抵のことではないと思います。歴代の本部長、役員の皆様に重ねて感謝申し上げます。

バスケットボール部会も登録団の中で一番多い団となり、バスケットボール小学生の部も 23 回を数えます。13 年前には仙台市スポーツ事業団との仙台市カップとの共済にご尽力を頂いて、今年も盛大に仙台市カップ兼バスケットボール小学生の部交流大会を行うことが出来ました。又中学生の部も毎年、春、秋に交流大会を開催しております。

これも、仙台市スポーツ少年団の御協力、ご支援があればこそ開催できるものと感謝しております。

スポーツ少年団も団員の減少が激しく、常に苦勞を重ねているところもあります。厳しい状況の中で頑張っておりますので今後ともご支援、御協力をお願い致します。

又、今後更に、50 年を目指して発展することを願ひまして挨拶とさせていただきます。



卓球部会紹介



新田卓球スポーツ少年団 代表 小畑安男

仙台市スポーツ少年団 40 周年おめでとうございます。

新田卓球スポ少は、今年で 5 周年になります。発足は平成 10 年に新田卓球ジュニアとして出発しました。地元の体育振興会のメンバーで、ママさん卓球愛好会の子供達がお母さんに連れられ、新田小学校の体育館で遊んでいた時に卓球を教えたのがきっかけでした。

その時のメンバーで現在コーチの平塚コーチから小畑さん卓球スポーツ少年団を作りましょうと声をかけられ、よし作りましょうと始まったのが原点です。それからだんだんと地元の子供達が入って来まして、今では延べ 50 人の子供達を指導しております。



その中には中学校全国大会で活躍し男子で 32 位に入った子供、また、元所属していた女子で昨年の中学全国大会で優勝した女子の奥田のはらが生まれました。

これからも子供達の健全育成のため、心と体を育てるため、コーチご父兄の皆様と力を合わせ素晴らしい可能性を持った子供の将来のため、微力ではございますが努力して行きます。

仙台市スポーツ少年団がこれからも益々発展することを願います。

野球部会紹介

仙台市スポーツ少年団野球部会 部会長 佐藤伸光

仙台市スポーツ少年団野球部会は、複合チームを含め68団で構成されております。

小学校の部は、春季、秋季、新人の各交流大会を開催。中学校の部は、前期、後期、新人の各交流大会を開催しております。また、審判講習会を大会前に2回開催しております。

さらに、野球部会独自の指導者・母集団研修会や懇親会を開催。各門野球チームの指導者の方々や県警のご協力をいただき、身近な問題についての研修も行ってあります。

指導者も、親も、子供たちも「明るく！楽しく！元気よく！」活動をしてあります。

団員の数も、楽天イーグルスやWBCの日本優勝などもあり、増加傾向にあり嬉しい悲鳴も聞こえていますが、若干地区によっては団員不足の所もあります。ぜひ、地区の野球チームに！！

「さらなる前進！野球部会！」



柔道部会紹介

仙台市スポーツ少年団柔道部会 理事長 加瀬道雄

仙台市スポーツ少年団の柔道部会として発足したのは昭和63年4月であるから19年目になり、単位団11団、200名を超える団員が日々柔道を通じた活動をしている。

部会の主行事は2つ有り、学年別柔道大会、柔道の形競技大会、いずれも県大会予選を兼ねており毎年盛大な大会になっている。

学年別柔道大会は全員が参加出来る大会で初めて対外試合に臨む団員もいてとても楽しい大会である。又仙台市は県大会団体総合で平成17年18年と2連覇を達成し、大いにその実力を発揮している。

形の大会は少し参加団が少ないが柔道の形の修得は柔道修行をする上で必要不可欠なものであり、競技柔道が優先され軽視されているのは残念に思うところである。

柔道を通してたくさんの仲間と交流を深め、心豊かな人間に成長して欲しいと願っている。そして成長した団員が指導者として戻って来てくれたら何よりも嬉しい限りである。



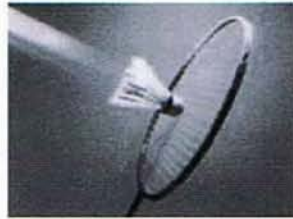


バドミントン部会紹介



仙台市スポーツ少年団バドミントン部会 部会長 加藤 宏

私たちバドミントン部会は3団体しかありませんが、バドミンの普及と子ども達の育成のため元気に奮闘しています。毎年、仙台市の交流大会も開催しています。来年度は、宮城野区の体育館も近くに完成します。是非、地域の子供達にバドミンの素晴らしさを普及する行事等を開催したいと思います。そして、いつかは全国大会を仙台で行いたいと夢を抱いています。



剣道部会紹介



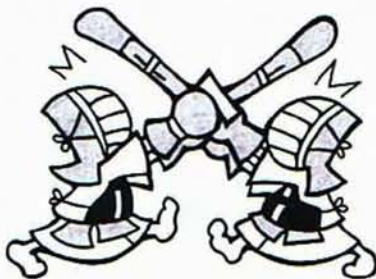
仙台市スポーツ少年団剣道部会 部会長 大沼良雄

昭和49年に南光台少年剣道クラブが入団以来現在は複合団体を含めて13団体が登録し、のびのびと活動中です。

また、宮城県代表として全国剣道大会に数多く出場し、好成績を残しておりますが、これも各先生方の指導並びに、育成母集団の皆様方の温かいご支援に支えられながらの結果と存じます。

剣道は、日本古来の伝統文化であると同時に武道である反面、競技種目でもあるためか、結果（勝利）だけが優先される昨今ですが、剣道が持っている、武士道精神の本質を再認識しながら厳しい稽古を通して、元気で礼儀正しく、強く逞しい精神を持った子供達を育成して行きたいと思っております。

最後になりましたが、仙台市スポーツ少年団創立40周年おめでとうございます。また、関係各位の益々の発展をお祈り致します。





空手道部会紹介



仙台市スポーツ少年団空手道部会 部会長 西山和人

創立 40 周年という節目にあたり、空手道部会としては、2 市 2 町合併以来、組織として確実に成長してきたと、自信を深めております。合併時は流派の違いによりギクシャクしていた部分もありましたが、現在は、全日本空手道連盟の下に、各会派、流派が統一されたルールで、スポーツ少年団空手道交流大会として、今年で 17 回目の大会を開催することが出来ました。これも偏に団員や指導者はもとより、母集団の方々によるご支援の賜ものと感謝致しております。社会自身が変化している中で、空手道という武道を通して子供達が対応出来るよう指導して行くのが、これからの我々の使命と考えて、より一層の研鑽と努力を重ねていくつもりです。

合併時 4 団しか無かった単位団も今年は 13 団に増えました。これからの希望としてスポ少空手道全国交流大会が開催されることを期待して、50 年記念日までがんばりたいと思います。



ボウリング部会紹介



仙台市スポーツ少年団ボウリング部会 部会長 及川行雄

当部会は、他の部会と異なり、「部会」と名乗れる程の回数ではありません。一回のみです。全国的にも非常に少なく、10 回しかありません。その背景には、活動の拠点となるボウリング場には、ジュニアを対象としたクラブがあり、専属プロが指導・育成にあっていることから、スポ少などの新たな組織の結成が難しい状況であります。しかし、お世話になっている KBC（勝山ボウリングクラブ）は、ジュニアクラブがなかったことから、ジュニアの育成を目的に昭和 63 年にスポーツ少年団を結成しました。当初は KBC が運営していましたが、その後父兄に引き継がれ、今日にいたっています。

団員は、拠点のある青葉区に限らず市内全域から通っていますが、団員数は決して多くはありません。また、指導者も少ない状況ではあります。しかし、ボウリングを好きな子供が一人でもいる限り、スポーツ少年団としての活動を継続して行きたいと考えております。





トランポリン部会紹介



仙台市スポーツ少年団トランポリン部会 部長 横野 知美

今年で10年目となる仙台ジュニア泉トランポリンクラブは現在、幼稚園生～小学生の男女20名で、月3回泉海洋センターにて活躍中。

トランポリンは見た目以上に難しく、ハードなスポーツであることはご存知？

全身運動であるトランポリンは、平衡感覚を養い、心肺機能を高める効果があります。

両足で跳び、腰や膝をつき、腹ばいになり・・・と様々な技に挑戦していく子供たち。



年に数回の競技会・バッチ

テスト（1級～5級）の取得を目標に一生懸命練習している子供たち。

何より、ピョンピョン高く跳び、心を“ワクワク”弾ませ楽しんでいる子供たち。

「もっと高く！もっと上手に！」とトランポリンを楽しみ、自分の目標に向かってやる気と笑顔に満ちた子供たちは輝いています。

まだまだ認知度・普及度は低い競技ですが・・・Let's Enjoy トランポリン！で多くの子供たちに楽しさを伝えていきたい。



【リーダー会】



日独スポーツ少年団同時交流に参加して

仙台市リーダー会 成戸 陽子

私がスポーツ少年団に所属してから13年が経ちましたが、私がここまで来れたのも、役員、指導者、父兄の方々と家族の支えがあったからです。スポーツ少年団がなければ、今の私は間違いなく無かったと思います。

40周年を迎え、私が考えたのは、これからのスポーツ少年団とリーダーについてです。

今年私は日本スポーツ少年団の代表として、日独スポーツ少年団同時交流に参加してきましたが、ドイツでは青少年が自分の意見が団体の運営に取り入れられるように、積極的にスポーツ団体などの会議に参加しています。日本でも青少年が少年団の運営に参加し、青少年の視点からの意見を取り入れることができれば、よりよい少年団活動ができるのではないかと思います。

この度は仙台市スポーツ少年団40周年誠におめでとうございます。



シュヴェヴィッシュグミュンド表敬訪問（市庁舎）
右から5人目が筆者



活動のスタッフ



仙台市スポーツ少年団の登録状況

1. 平成 18 年度の登録状況

団 数	団 員 数			指 導 者 数		
	男	女	計	男	女	計
309	5,934	1,922	7,856	1,275	351	1,626

2. 登録の推移

項 目	年 度				
	14 年度	15 年度	16 年度	17 年度	18 年度
(1) 団 数	292	293	298	299	309
(2) 団 員 数	7,561	7,842	8,009	8,057	7,856
(3) 指導者数	1,311	1,361	1,438	1,520	1,626

3. 種目別団体数の推移

項 目	年 度				
	14 年度	15 年度	16 年度	17 年度	18 年度
複 合	9	9	5	9	7
陸 上					1
サッカー	62	64	64	65	68
スノーボード					1
バレーボール	43	42	47	45	49
体 操				1	1
バスケットボール	75	69	72	71	70
卓 球	3	3	2	2	3
野 球	61	65	67	66	66
柔 道	11	10	11	11	11
バドミントン	3	3	3	3	3
剣 道	11	10	11	11	12
ラグビー	2	2	2	2	2
空 手 道	8	10	11	11	13
ボウリング	1	1	1	1	1
少林寺拳法					1
トランポリン	2	2	2	1	1

平成18年度仙台市スポーツ少年団登録一覧(1/6)

[青葉区]

団名	団代表者氏名	団名	団代表者氏名
<複 合>		<バスケットボール>	
川平	石垣健二	ガッツ国見ミニバスケットボール	片桐雅治
<サッカー>		上杉ミニバスケットボール	幸山育子
八幡サッカー	松本淳之介	片平バスケットボール	佐藤田鶴子
台原サッカー	渋谷昌久	立町サーベルモンキー	猪狩真佐子
FC.ASK	遊佐新	貝ヶ森ブレイブス	若生優子
大沢サッカー	佐藤英樹	仙台桜丘バスケットボール教室	中山淳
仙台スポーツシューレFC	庄子晋	広瀬ミニバスケットボール	朝倉寿子
上杉サッカー	小野田友彦	北六フェニックス MBBC	升澤清貴
旭丘サッカー	北林進	<野 球>	
国見サッカー	杉山文彦	角新ファイターズ	植松修一
立町サッカー	土方重人	栗生	吉田尚
吉成サッカー	石島孝代	国見野球	佐藤伸光
北仙台サッカー	小林幸一	荒巻少年野球クラブ	早坂哲男
北六サッカー	花坂英昭	小松島小ベースボールクラブ	穀田初男
仙台YMCA サッカー	荒木啓二	吉成野球	水野直次
仙台スポーツシューレ	庄子まさの	旭丘少年野球クラブ	高橋勉
FC東二ジュネスサッカー	水野雅章	木町通フレンズ	阿部強
附属FC	白根稔	桜ヶ丘キラーズ	安部多利治
ACクレックサッカー	内海公一	ベアーズクラブ	馬場智彦
FC中山ジュニア	菅原公市	通町コスモスポーイズ	石川正明
<バレーボール>		広瀬	小野寺博幸
大沢小バレーボール	鎌田直樹	大沢野球	岡部博
国見バレーボール	吉澤隆子	北仙台ジャガーズ	小島健治
立町バレーボール	菊池幹夫	立町少年野球クラブ	平間輝夫
<バスケットボール>		川前ファイヤーズ	阿部正利
桜丘BBC	赤松強	大沢ベースボールクラブ	松原三郎
台原中バスケットボール	渋谷直樹	八幡小少年野球クラブ	佐藤信三
五橋バスケットボール	鈴木陽一	広瀬無敗塾	小松優
仙台市立第一中学校バスケットボール	高橋和也	上杉ホークス	ダグラス・シューカート
吉成バスケットボール	伊藤隆	<柔 道>	
広瀬バスケットボールクラブ	塩澤沙織	遠藤一志柔道教室	遠藤好則
吉成バスケットボール愛好会女子	山口芳晴	仙台市宮城地区柔道	早坂征市
青葉	桜井義紀	TG倶楽部	川村栄一
吉成サンシャインミニバスケットボール	板橋イネ	<剣 道>	
通町ミニバスケットボールクラブ	若生康仁	大沢剣友会	只野輝成
台原ヴィクトリーズ	新関聡	吉成剣友会	田代信子
上杉女子ミニバスケットボール	古澤珠美	愛子少年剣友会	酒井勝美

平成18年度仙台市スポーツ少年団登録一覧(2/6)

[青葉区]

団名	団代表者氏名	団名	団代表者氏名
<空手道>		<空手道>	
JKA 仙台空手道	山内 常由	青葉空手道	相澤 一夫
全日本空手道連盟仙台市武道館	小山 睦生	空手道けやき塾	熊谷 次郎
日本総合空手道連盟吉成空手クラブ	鈴木 明英	空手道秀練会吉成道場	砂山 宏
<ボウリング>			
仙台ボウリング	及川 行雄		

[宮城野区]

団名	団代表者氏名	団名	団代表者氏名
<陸上>		<バスケットボール>	
Leo club Japan	渡辺 高夫	東仙台ミニバスケットボールクラブ	渡辺 猛
<複合>		中野栄ミニバスケットボールクラブ	
新田	菅原 壽	田子ウイングス	米倉 啓子
<サッカー>		田子中学校バスケットボール	
FC. クオーレ	吉谷 幸造	<卓球>	
高砂サッカー	千葉 一司	新田卓球	小畑 安男
原町サッカー	佐藤 雅一	<野球>	
岩切サッカー	高橋 建男	岩切少年野球クラブ	及川 悦郎
福室サッカー	伏見 昭夫	鶴巻ドラゴンズ	高野 奨
なかのFC	千葉 忠志	中野栄ウィンズ	熊谷 頼朗
つるまきF・C	早坂 仁	高砂ロビンス	大窪 憲雄
<バレーボール>		中野スパローズ	
つばめ沢	常盤 節	東仙ビクトリー	鈴木 忠幸
岡田バレーボール	庄司 清志	<柔道>	
高砂バレーボール	長南 英子	幸町柔道教室	鳥谷 順子
栄レディース Jr	阿部 司	中野柔道教室	小林 和弘
柘江バレーボール	畠山 金男	<バドミントン>	
高砂クラブ	佐藤 節子	燕沢ジュニアバドミントンクラブ	加藤 宏
中野バレーボール	鹿野 高子	田子ジュニアバドミントン	湯村 治夫
<バスケットボール>		<剣道>	
みやぎジュニアバスケットスクール	高田 稔光	東仙台剣道	大沼 良雄
西山中学校	三浦 正子	東武道館剣道	砂金 博之
高砂中	佐々木 新太郎	<空手道>	
宮城野バスケットボール	椎名 二男	高砂拳友会空手道	田中 健治
燕沢クールヘッズ	西田 信子	<少林寺拳法>	
福室レイカーズミニバスケットクラブ	大村 正二	少林寺拳法仙台中野栄	伊藤 浩司
原町バスケット愛好会	鈴木 瑞夫		

平成18年度仙台市スポーツ少年団登録一覧(3/6)

[若林区]

団名	団代表者氏名	団名	団代表者氏名
<複合>		<バレーボール>	
東六郷	鈴木幸誠	蒲町中男子バレーボール	森口泰幸
若林	大山次男	蒲町中	小松敬
六郷	相澤尚樹	<バスケットボール>	
<サッカー>		荒浜ミニバスケットボール	浜田幸悦
南小泉中学校サッカー	吉田和美	おきのミニバスケットボール	佐藤里弥
荒町サッカー	渋谷進	南小泉バスケットボール	及川みどり
南小泉サッカー	安中俊作	蒲町バスケットボール	岩本多賀夫
おきのサッカー	庄司彰	<野球>	
S・K(七郷・蒲町)サッカー	宮城秀夫	六郷エコーズ	渡辺久男
大和サッカー	伊藤一宏	大和少年野球クラブ	稲月達男
古城FCサッカー	山本利幸	大和クラブ	小森恭子
遠見塚SCサッカー	千田秀一	七郷少年野球クラブ	大泉秀一
<バレーボール>		南小泉メッツ少年野球愛好会	高橋和幸
遠見塚ゴールデンスターズ	鳴原奈美恵	蒲町野球	大友宣弘
七郷少女バレー愛好会	加藤政彦	南材少年野球部	松榮英也
連坊小バレーボール愛好会	栞田義信	荒浜ビッグウェーブ	庄子春男
南小泉バレーボールクラブ	高橋保子	連坊ジャスティス	曾我英治
大和バレー部	佐藤正夫	<剣道>	
蒲町小	丹野孝	南小泉剣道会	武田力
沖野バレーボール愛好会	香高宏		

[太白区]

団名	団代表者氏名	団名	団代表者氏名
<複合>		<サッカー>	
中田	夏谷繁	大野田サッカー	関恵
八本松	米田龍守	人來田サッカー	菅野洋
<サッカー>		袋原サッカー	庄司昭彦
茂庭サッカー	市川俊雄	芦の口サッカー	江角安正
西多賀サッカー	永野勇	太白サッカー	吉田宏
金剛沢サッカー	岩井二郎	仙台向山フットボールクラブ	菊地俊也
東長町FC	安瀬政広	四郎丸サッカー	青砥吉夫
上野山サッカー	上村興吉	セナルサッカー	鄭哲
やぎやまサッカー	市原三夫	東四郎丸サッカークラブ	茂木一博
アバンツアーレ仙台SC	前田玄	鹿野FC	中里昌宏

平成18年度仙台市スポーツ少年団登録一覧(4/6)

[太白区]

団名	団代表者氏名	団名	団代表者氏名
<バレーボール>		<卓球>	
人來田小学生バレーボール愛好会	長内 譲悦	キッズ・ジュニア	鈴木 尚
西多賀バレーボール	吉田 正美	<野球>	
袋原スポーツ育成会バレーボール部	伊藤 徳良	袋原スポーツ育成会野球部	近藤 玲二
郡山ジュニアバレーボール	菅野 芳明	西多賀少年野球	松浦 宏
鹿野小バレーボール愛好会	佐藤 美路子	向山少年野球クラブ	野又 勝行
茂庭台バレーボールクラブ	高城 裕恵	茂庭台ライオンズ	紺野 幸雄
太白ファイヤーズバレーボール	高橋 不二夫	太白ジュニアメッツ	鈴木 貞夫
芦口バレーボール	山田 道代	郡山チャレンジャー	千葉 正司
金剛沢小学校バレーボール育成会	草田 勝美	上野山モンキーズ	廣田 秀敏
上野山ピクトリーズVB	鈴木 巖	大野田ホエールズ少年野球クラブ	佐藤 康一
東長町少女バレー部	阿部 幸雄	富沢野球	桜井 泰実
郡山中学校	伊藤 勝	<柔道>	
太白ファイヤーズ女子バレーボール	佐藤 良夫	八木山柔道	見田 哲雄
八木山南少女バレー部	佐藤 修	根岸柔道塾	太田 功二
長町中学校バレーボール愛好会	百木 薫	仙台錬心会	野田 康二
<バスケットボール>		<バドミントン>	
八木山バスケット	及川 恵美子	四郎丸ジュニアバドミントン	古橋 政紀
富沢バスケット	庄子 千春	<剣道>	
長町バスケットボール	柿沼 房子	茂庭台少年剣道	引地 貞利
仙台中田中バスケットボール	古澤 透	生出剣聖会	太田 孝
柳生ジュニアバスケットボール	高橋 由美子	養志館	工藤 雅照
長町南小ミニバスケットボール	阿部 富夫	郡山剣道	大沼 良介
西多賀ミニバスケット	川田 智	<ラグビー>	
茂庭台ミニバスケットクラブ	芳賀 ゆう子	仙台ラグビースクール	小笠原 浩
鹿野ミニバスケットボール愛好会	大内 奈々	長町ラグビースクール	柿沼 恭広
袋原スポーツ育成会バスケットボール部	中村 久志	<空手道>	
金剛沢ミニバスケットボール同好会	石山 武	中田空手道	穴戸 正明
郡山グラスホッパーズ	鈴木 正守	四郎丸空手道	菅野 浄
長町ミニバスケットボール同好会	村上 邦明	実践空手道武真会	桜田 雅之
向山ファイブパインズ	田中 恵美子		
八木山ミニバスケット	鎌田 亮二		
生出ミニバスケットボール	高橋 一磨		

平成18年度仙台市スポーツ少年団登録一覧(5/6)

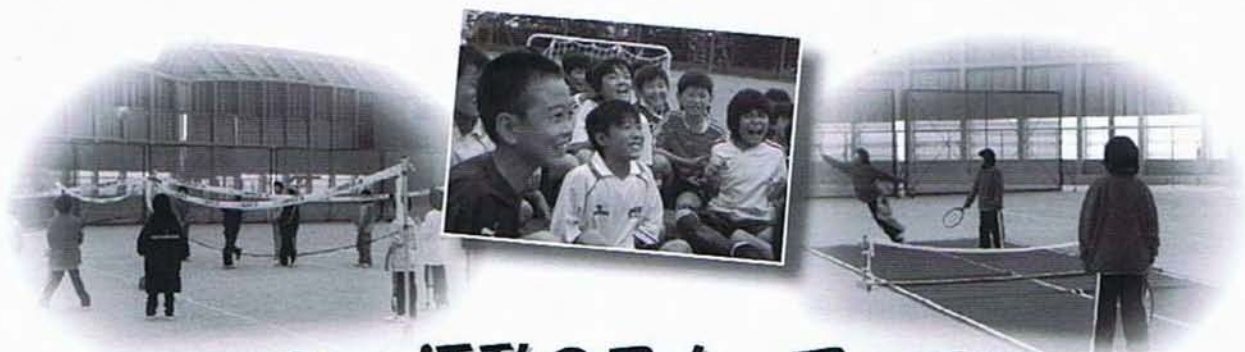
[泉 区]

団 名	団代表者氏名	団 名	団代表者氏名
<サッカー>		<器械体操>	
住吉台 SFC	阿 部 紀 也	鶴が丘アトム体操クラブ	澤 田 義 博
南光台サッカー	太 田 和 夫	<バスケットボール>	
ロングライフ FC	佐 藤 佳代子	高森中女子バスケットボールクラブ	斎 藤 みずき
舘キッカーズ	三 井 世	舘レインボースターズ	田 原 龍 子
高森サッカー	山 口 勝 成	サザンクロスバスケットボールクラブ	長 谷 敦 子
虹の丘サッカー	中 野 謙 一	B.T.SEVEN	及 川 英 人
松陵サッカー	鈴 木 繁 則	南光台東バスケット	筒 井 久美子
黒松バル FC	片 山 晴 男	泉中山フィリーズ	島 幸 枝
FC.KAMURI	伊 藤 俊 英	南光台ミニバスケットボール	金 澤 英 巳
泉向陽台サッカー	菅 原 昇	寺岡男子ミニバス	板 橋 幸 雄
桂サッカー	田 口 亨	加茂ミニバスケットボール愛好会	渡 辺 雅 子
将監サッカー	嶺 岸 隆 雄	北中山フレンズ	針 生 栄 二
北中山サッカー	木 村 和 夫	将監バスケットボール	小 松 允 秋
加茂 FC サッカー	鈴 木 茂	高森東ミニバスケットボール	落 合 砂 江
FC. セレスタサッカー	内 島 洋一郎	泉中央バスケットボール教室	志 村 都
ベガルタ仙台ジュニア	井 上 和 徳	寺岡ミニバスケットボール同好会	北 沼 はつ子
寺岡・Hs gallants	山 下 陽 一	向陽台ミニバスケットボール	菊 地 正 也
泉スペック	佐 藤 一 輝	鶴が丘ミニバスケットボール同好会	杉 浦 正 逸
<スノーボード>		松陵ドリーム	佐 藤 勝 男
仙台スノーボード	中 里 孝 行	住吉台ミニバスケットボール	大 澤 きよみ
<バレーボール>		松森ミニバスケットボール同好会	佐 藤 洋 子
南光台リリーズ	船 山 雅 和	<卓 球>	
住吉台ミラクルレモンズ	茂 木 広 喜	泉卓球	氏 家 勝 之
高森シスターズ	十二村 英 丈	<野 球>	
長命ヶ丘ミッキーズ	菊 池 篤	舘ドラゴンファイターズ	尾 形 優
根白石ウイングス	清 水 一 枝	将監イーグルス	千 葉 一 行
七小ガッツ	鈴 木 賢 治	根白石少年野球クラブ	庄 司 正 徳
松森レインボー	柳 川 富二雄	八乙女小少年野球クラブ	海 藤 徹
泉 Jr. クラブ	北 林 伸 一	南光台少年野球クラブ	畠 山 靖
向陽台たんぼぼ	山 岸 勝 彦	住吉台フェニックス	安 部 菊 則
黒松中学生バレーボール	竹之内 喜代子	鶴が森少年野球クラブ	佐 藤 栄 進
舘リトルベアーズ	川 島 健太郎	南光台東小野球愛好会	小 山 武 夫
北中山メイツ	高 橋 優 勝	いずみスカイヤーズ	板 倉 邦 信
黒松アイリスバレーボールクラブ	有 住 伸 孝	寺岡ブラザーズ	関 口 達 雄
桂アップル	高 鷹 厚	将監ピクトリー	広 田 常 雄
		泉ヶ丘ヤングイーグルス	熊 谷 純 宏

平成18年度仙台市スポーツ少年団登録一覧(6/6)

[泉 区]

団 名	団代表者氏名	団 名	団代表者氏名
<野 球>		<剣 道>	
黒松少年野球クラブ	小 堺 久 男	高森剣道クラブ	千 葉 克 彦
長命ヶ丘スカイヤーズ	今 村 忠 夫	南光台少年剣道クラブ	森 田 隆 郎
加茂ヤングスターズ	星 圭	<空 手 道>	
福岡リトルモンスターズ	金 森 養 一	向陽台空手道クラブ	佐 藤 剛
泉中山ドリームズ	宮 城 芳 和	防具付空手道八方会	佐 藤 光 信
野村ジュニアドラゴンズ	古 川 哲 也	武真会北道場	大 竹 正 明
市名坂クラブ	嶺 岸 和 弘	<トランポリン>	
高森ブラザーズ	横 山 政 巳	仙台ジュニア泉トランポリン	横 野 知 美
泉ヶ岳エンゼルス	加 藤 高 広		
南光台東クラブ	門 田 洋		
<柔 道>			
根白石柔道	澁 谷 満		
泉柔道	加 瀬 道 雄		
鶴が丘柔道	大 宮 正 道		



活動の snapshots



仙台市スポーツ少年団規約

(名 称)

第 1 条 本団は、仙台市スポーツ少年団 (SENDAI-SHI.JUNIOR.SPORTS.CLUBS. BRANCH. 略称 S.J.S.B 以下「本団」という。) と称する。

(事務所)

第 2 条 本団の事務所は、仙台市青葉区錦町 1-3-9 (仙台市役所錦町庁舎内) 特定非営利活動法人仙台市スポーツ連盟事務局に置く。

(目 的)

第 3 条 本団は、スポーツ少年団の普及と育成及び活動の活性化をはかり、もって青少年の健全育成に資することを目的とする。

(事 業)

第 4 条 本団は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 育成計画の策定と実践
- (2) 指導者及びリーダーの養成と活用
- (3) 体力テストを含む活動の普及指導
- (4) 交流事業の実施
- (5) 広報活動
- (6) 青少年スポーツに関する調査研究
- (7) 特に功績のあった個人及び団体の表彰
- (8) 関係団体との連携
- (9) その多目的達成に必要な事業

(組 織)

第 5 条 本団は、登録したスポーツ少年団 (以下「単位団」という。) によって構成された組織とする。

2 各区に区スポーツ少年団を置く。

3 区スポーツ少年団に関することは、別に定める。

4 登録に関しては、日本スポーツ少年団登録規程及び同規程施行細則を準用する。

(役 員)

第 6 条 本団に次の役員を置く。

- | | |
|----------|-----|
| (1) 本部長 | 1名 |
| (2) 副本部長 | 5名 |
| (3) 理事長 | 1名 |
| (4) 理事 | 若干名 |
| (5) 監事 | 2名 |

第 7 条 本部長、副本部長は委員総会において選出する。

2 本部長は、本団を代表し、団務を統括する。

3 副本部長は、本部長を補佐し、本部長に事故があるとき、または欠けたときは、本部

長があらかじめ指名した副本部長がその職務を代行する。

第 8 条 理事は、委員総会において次の各号から推薦された者があたる。

- (1) 種目別部会 12名
- (2) 指導者協議会 5名
- (3) 区スポーツ少年団選出 各2名
- (4) リーダー会 1名
- (5) 本部長推薦 3名

2 理事は、本部長、副本部長をたすけ団務の企画・運営にあたる。

3 理事長は、理事の互選により選出し、本部長の命を受け団務を掌理する。

第 9 条 監事は、委員総会において選出し、会計を監査する。

第 10 条 役員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 役員の欠員が生じた場合は、それぞれの選出方法に準じて欠員を補充する。ただし、補充役員の任期は前任者の残任期間とする。

3 役員の任期が満了しても、後任者が就任するまで、なおその職務を行う。

(委員)

第 11 条 本団の委員は、単位団の代表者があたる。

(参与)

第 12 条 本団に参与を置くことができる。

2 参与は、理事会の推挙に基づき、本部長が委嘱する。

3 参与は、理事会の諮問に応ずる。

(会議)

第 13 条 委員総会は、本部長、副本部長、理事長、理事及び委員をもって構成し、本団事業計画、予算、事業報告、決算、役員人事、規約の改廃その他業務に関する重要事項を決議する。ただし、緊急事項については理事会に委任することができる。

2 委員総会は毎年1回開催し、本部長が招集し議長となる。

3 前項のほか、理事会が必要と認めたとき、または3分の1以上から会議の目的事項を示して請求があったときには、本部長は2週間以内に臨時委員総会を招集しなければならない。

4 委員総会の議事は、出席した構成員の過半数をもって決め、可否同数の時は、議長がこれを決める。

第 14 条 理事会は、本部長、副本部長、理事長、理事を持って構成し、必要に応じ本部長がこれを招集し、理事長が議長となる。

第 15 条 三役・委員長会議は本部長、副本部長、理事長、指導者協議会会長、各専門委員長を持って構成し、理事会提案事項等の協議検討を行う。会議は必要に応じ本部長がこれを召集し議長となる。

第 16 条 区本部長会議は、本部長、副本部長、理事長、指導者協議会会長、及び区本部長をもって構成し、各区の事業計画を討議すると共に各区スポーツ少年団間

の調整をはかる。会議は必要に応じ本部長がこれを招集し議長となる。

(専門委員会)

第 17 条 本団に次の専門委員会を置く。

- (1) 総務企画委員会
- (2) 組織強化委員会
- (3) 指導育成委員会
- (4) 交流事業委員会
- (5) 広報委員会

2 前項のほか理事会の議決を経て、必要な専門委員会を設けることができる。

第 18 条 各専門委員会の委員長は、理事会の互選によって決する。

2 理事は各専門委員会に所属する。

3 専門委員会についての必要な事項は、理事会の議決を経て別に決める。

(種目別部会)

第 19 条 本団に種目別部会を置く。

2 各部会に部会長、その他必要な役員を置く。

3 その他部会の関しては理事会の議決を経て別に決める。

(指導者協議会)

第 20 条 本団に指導者の資質、指導力の向上のため、指導者協議会を置く。

2 指導者協議会については、理事会の議決を経て別に決める。

(会計)

第 21 条 本団の経費は、登録料、補助金、寄付金及びその他の収入をもって充てる。

2 会計年度は4月1日に始まり翌年3月31日におえる。

(事務局)

第 22 条 本団の事務処理をするため事務局を置く。

2 事務局に必要な規程は、仙台市体育協会事務局規程に準ずる。

附 則

この規約は、平成2年4月28日から施行する。

- (1) 平成 9年4月25日一部改正
- (2) 平成 11年2月20日一部改正
- (3) 平成 13年4月24日一部改正
- (4) 平成 15年4月23日一部改正
- (5) 平成 17年4月23日一部改正
- (6) 平成 18年4月22日一部改正

仙台市スポーツ少年団指導者協議会規程

(総 則)

第1条 この規程は、仙台市スポーツ少年団規約第18条に規定された指導者協議会（以下「協議会」という）に関することを定める。

(目 的)

第2条 協議会は、仙台市スポーツ少年団登録指導者（以下「指導者」という）相互の連携と資質・指導力の向上ならびに支部活動の促進・方策について協議、研鑽することを目的とする。

(事 業)

第3条 協議会は、前条の目的を達成するため、次の事業をおこなう。

- (1) 指導者の研修
- (2) 指導者の交流および情報交換
- (3) 指導者およびリーダーの養成
- (4) 区内および支部内の諸調整と、区体育協会との連携
- (5) その他、目的達成に必要な事項

(組 織)

第4条 協議会は、仙台市スポーツ少年団登録指導者で組織する。

(構 成)

第5条 協議会は、青葉区、宮城野区、若林区、太白区、泉区の指導者協議会（以下「区協議会」という）で構成する。

- 2 区協議会において、目的達成のため、独自に活動が出来る。
- 3 区協議会が選出した代表5名を代議員として協議会に派遣する。

(総 会)

第6条 協議会は、年1回2項に定める構成員による総会を開催する。

- 2 総会は、会長、副会長、理事、監事、代議員で構成し、次の事項を審議する。
イ) 事業および決算報告 ロ) 事業計画と予算 ハ) 役員の選出 ニ) 規定の改廃
ホ) その他重要事項
- 3 総会の議事は、出席した代議員の合意で決議する。

(役 員)

第7条 協議会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名
- (2) 副会長 4名
- (3) 理 事 10名以内
- (4) 監 事 2名

(役員会)

第8条 役員会は、前条の役員で構成し、会長が議長となる。

2 役員会は、随時開催し、事業および総会についての企画立案すると共に、区協議会の運営に助言・援助する。

(役員を選出)

第9条 協議会の役員は、次の各項により選出し、総会に諮ることとする。

2 区協議会より各々3名推薦する。

3 会長および副会長は、役員の間選で決める。

第10条 協議会の監事は、総会において選出し、会務および会計を監査する。

(任期)

第11条 協議会役員の任期は2年とする。但し再選は妨げない。

(会計)

第12条 協議会の会計は、一般会計からの補助金およびその他の収入を以って充てる。

2 区協議会には、相応の配分をおこなう。

3 協議会の会計年度は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(事務局)

第13条 協議会の事務を処理するため、事務局を置く。

2 事務局は、仙台市スポーツ少年団事務局とする。

(補則)

第14条 区協議会の規程は、協議会規程に準ずる。但し、区毎の役員に係わる事項は、区協議会に委ねる。

2 区協議会の会計は、協議会の予算の範囲内で充当し、処理は区協議会会長があたる。

3 区協議会の連絡文書等は、要請により事務局があたる。

4 その他必要な事項は、協議会にて審議決定する。

付 則

この規程は、平成11年2月20日から施行する。

平成11年2月21日より適用する。

平成 17・18 年度仙台市スポーツ少年団役員名簿

役 職	氏 名	所 属 団	選出区分	専 門 委
本 部 長	筒 井 久美子	南光台東バスケット	泉 区	
副 本 部 長	佐 藤 伸 光	国見野球	青 葉 区	総務企画
〃	菅 野 浩 佳	高砂サッカー	宮城野区	広 報
〃	安 中 俊 作	南小泉サッカー	若 林 区	指導育成
〃	市 原 三 夫	やぎやまサッカー	太 白 区	交 流
〃	高 橋 優 勝	北中山メイツ	泉 区	組織強化
理 事 長	西 山 和 人	青葉空手道	空 手	
理 事	中 野 勲		仙台市体協	総務企画
〃	土 井 章 由	吉成サンシャイン	青 葉 区	広 報
〃	平 間 輝 夫	立町少年野球	青 葉 区	指導育成
〃	西 田 信 子	燕沢クールヘッズ	宮城野区	指導育成
〃	常 盤 節	つばめ沢	宮城野区	組織強化
〃	本 名 正 孝	大和少年野球	若 林 区	総務企画
〃	葛 城 隆 一	沖野バレーボール	若 林 区	交 流
〃	千 葉 守	太白ファイヤーズ	太 白 区	交 流
〃	相 澤 嘉 樹	中田空手道	太 白 区	指導育成
〃	小 崎 尚	南光台東バスケット	泉 区	組織強化
〃	吉 田 尚	栗生	指 導 協	広 報
〃	大 沼 千 春	東仙台剣道	指 導 協	広 報
〃	佐 藤 秀 樹	遠見塚ゴールデンスターズ	指 導 協	指導育成
〃	宍 戸 正 明	中田空手道	指 導 協	交 流
〃	田 原 龍 子	館レインボースターズ	指 導 協	交 流
〃	佐 藤 勝 男	松陵ドリーム	バスケット	総務企画
〃	岩 井 二 朗	金剛沢サッカー	サッカー	指導育成
〃	松 浦 宏	西多賀少年野球	野 球	広 報
〃	菊 池 幹 夫	立町バレーボール	バレー	広 報
〃	大 沼 良 雄	東仙台剣道	剣 道	総務企画
〃	大 宮 正 道	鶴が丘柔道	柔 道	組織強化
〃	加 藤 宏	燕沢ジュニアバドミントン	バドミントン	交 流
〃	村 山 勝 博	仙台ラグビースクール	ラグビー	組織強化
〃	及 川 行 雄	仙台ボウリング	ボウリング	総務企画
〃	小 畑 安 男	新田卓球	卓 球	総務企画
〃	横 野 知 美	仙台ジュニア泉トランポリン	トランポリン	交 流
〃	齋 喜 代	仙台ジュニア泉トランポリン	泉 区	組織強化
〃	成 戸 陽 子	国見野球	リーダー会	組織強化
〃	高 橋 幸 三		事務局長	
監 事	菅 原 壽	新田		
監 事	田 中 恵美子	向山ファイブパインズ		

スポーツ少年団の歌

若いぼくら

若田景代 作詞
松本民之助 作曲

♩ = 120 あふれる力で

mf

そらのあおさがぼくにある

それはわかきのシンボルだきほ

うそむねに

いこんで

のびるぼくらはにほんのこ

そう - だ そう - だ そう だそう だ - ス

ポ - ツ しょう ねん だん

1. 空の青さがぼくにある
それは若さのシンボルだ
希望を胸にすいこんで
伸びるぼくらは日本の子
そうだそうだそうだ
そうだスポーツ少年団
2. 山の青さがぼくにある
それはファイトのシンボルだ
茂るいばらをふみこえて
駆けるぼくらは日本の子
そうだそうだそうだ
そうだスポーツ少年団
3. 海の青さがぼくにある
それは力のシンボルだ
寄せる波濤をのりこえて
進むぼくらは日本の子
そうだそうだそうだ
そうだスポーツ少年団

みどりの朝風

太田克美 作詞
明元京静 作曲

Marciale

mf

みどりみどりのあさかぜに きぼうのはたが

なっている われらはスポーツ しょうねんだん に

お う けん こ う あ こ が れ た - か -

く - わ か い ち から を

さ あ た た え - よ - う わ か い こ ころ を

さあ - た た え - よ - う

1. みどりみどりの朝風に
希望の団旗がなっている
われらはスポーツ少年団
におう健康あこがれ高く
若い力をさあたたえよう
若い心をさあたたえよう
2. さやかさやかな青空に
平和の鳩が舞っている
われらはスポーツ少年団
水に大地に意気はつらつと
若い力をさあそだてよう
若い心をさあそだてよう
3. 元気元気な歌声で
世界の友が呼んでいる
われらはスポーツ少年団
燃えるファイトに花咲く技に
若い力をさあきたえよう
若い心をさあきたえよう

仙台市スポーツ少年団 創立 40 周年記念誌への御協力
ありがとうございました。

編集委員

菅野浩佳	担当副本部長
吉田尚	広報委員長
大沼千春	広報委員
松浦宏	広報委員
菊池幹夫	広報委員
土井章由	広報委員
及川行雄	ホームページ担当

印刷 有限会社 明倫社
〒983-0842 仙台市宮城野区五輪 2-9-5 五輪ビル
TEL (022) 295-8211 FAX (022) 295-8213

